

# SUN サンライト LIGHT

## 夏号

VOL. 15

発行日 平成7年6月  
 発行所 筑波芸術学園  
 所在地 茨城県稲敷郡水戸町若菜500  
 電話 0298-76-3880



阿弥陀聖衆来迎図(部分)  
林屋田英

絶年譜

大正10年(一九二一年)

京都府生

昭和15年

京都市唐橋入道

昭和16年

京都市立

筑波専門学校卒業

昭和17年

中国遼陽にて

復元

漢時代聖蹟宮噴噴写

昭和30年

平等院鳳皇堂聖蹟模写

昭和46年

三重塔聖蹟

昭和49年

同山阿弥陀来迎図

昭和54年

北叡山延暦寺東塔

金剛界五仏図聖蹟

昭和58年

真正聖衆寺真如堂

平成元年

釈迦三尊図

昭和62年

宝篋印形玉術大学館樓

平成2年

群谷寺金堂聖蹟

平成5年

四天王寺大日如来図

阿弥陀聖衆来迎図

林屋田英は京都に生まれ、幼少より商業に志した。京都市立絵画専門学校に学び、村上康臣に師事し、仏教画の専門家として高い評価を得ている。昭和46年より近江坂本に画室を移し、精神性の高い宗教画を描き続けている。作品は比叡山延暦寺、四天王寺といった名刹をはじめ各地に納められている。この「阿弥陀聖衆来迎図」は画伯の商業の裏大成と云うべき力作である。来迎図は最終の瞬間に阿弥陀仏が救いに現れる様子を表現したもので、古くは因から糸を垂らし、死者の手にもたせると阿弥陀仏に導びかれ極楽浄土に昇華すると語られた。

5月は一年の中でも最も快速な月ではないでしょうか。五月晴れの空のもと、野山の若緑はいよいよ潑刺と、花々は美しく溢れる。そんな素晴らしい5月も今年には五月晴れの日も少なく、テレビの天気予報でも低気圧の両面が多かったような気がします。そのうえ、3月20日の地下鉄サリン事件以来、世間はオウム真理教とその関係者等につきり振り回されてしまい、ゴールデンウィークも行楽気分が盛り上がりたらないようでした。中にはこんな混乱の国内を避けて、海外での休暇を楽しまれた方も多かったとの報道もありました。経済は急激な円高と日米通商摩擦などオウムの他にも難問山積みですが、こうした海外でのバカンスには円高も福の神だったと思います。

筑波芸術学園のゴールデンウィークと言えば、もうすっかり定着した付属のつくば牡丹園です。今年の花は昨年より2日程遅れて咲き出しましたが、連休中盤には例年どおりとなり多くのお客様に華やかな花の競演をお楽しみいただきました。サンライトの読者の方々にも多数ご来園いただきました。園内の芍薬も今年も昨年より遅げ、芍薬のファンも少しづつ増えてまいりました。少し残念なのは第一期霊区の花ナミズキの花が今年には不調だったことです。来年には元通りの元気なハナミズキの並木で皆様をお迎えしたいと思います。

さて、前号お届けの際お願いいたしました、「アンケート」。多くの方にこの回答をいただき御礼申し上げます。サンライトに励ましのお言葉やご提案、また中には「つまらないからいらぬ」といった素直な感想をいただき、一通々々編集スタッフ全員で拝見し今後のために大きな糧とさせていただきます。これからも紙面作りに努力いたしたいと思っています。

また、霊園に関するご意見もいくつか頂戴いたしました。早速、検討の上、改善に向け努力してまいります。お気付きの点はいつでも結構ですから、霊園事務所や東京事務所の担当者にお申し付けくださるようお願い申し上げます。